

# 尚 和 会 報 2011

平成23年5月1日

## 思い出とともに広がる同窓の輪



野球部OBが甲子園出場(マスターズ甲子園2010 大阪府代表)2010年11月13日

### 尚和会総会のご案内 平成23年5月15日(日)

- ホテルアイボリーにて(豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111)
- ◆総会……………オーキッドホール 12:00~12:45
  - ◆出羽真理さんのピアノ演奏と中務幸彦さんのチェロ演奏… 13:00~13:30
  - ◆懇親会…………… 13:35~15:30
- 食事はシッティング・buffeスタイル
- ◆お楽しみ抽選会
  - ◆会費 ……4,000円(2007年以降の卒業生は2000円)

#### ＜出羽 真理さんと中務 幸彦さんのプロフィール＞

**出羽 真理さん(桜塚高校24期生):**  
15歳にて全日本学生コンクール入賞。松浦豊明氏に師事し東京芸術大学入学。1988年には「外務省後援日中平和友好条約記念演奏会」に独奏者として招かれ、北京、大連にてベートーヴェンの協奏曲を演奏する。1999年にはフランスでの音楽祭「MUSIQUE EN GRESIVAUDAN」のガラコンサートにはじめての日本人として招かれ好評を得る。最近はカワイ音楽振興会シンポジウムの特別演奏会に招かれたりしてピアノ教師の指導にも活躍中のピアニスト。



**中務 幸彦さん(桜塚高校25期生):**  
豊中市生まれ。1974年東京芸術大学入学。卒業後同大学ダウ学院入学。1980年大学院修了後1983年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団、現在に至る。チェロを故伊達三郎、故井上頼豊、故津田朝子、松下修也、倉田澄子の諸氏に師事。オーケストラ活動の他に室内楽、独奏の分野でも活躍中。

当日はピアノソロ、チェロソロ、二人での演奏をしていただきます。  
曲名は バッハの無伴奏チェロ組曲 サンサーンス 白鳥、エルガー 愛の挨拶、ショパン 軍隊ポロネーズ 日本の歌曲、など。

### Contents

尚和会会長・校長ごあいさつ……………	2
学校だより……………	3
母校だより……………	4
投稿記事……………	6
尚和会通信・各期連絡先……………	8
役員紹介……………	9
尚和会決算・予算報告……………	9
特集記事『野球部OBが甲子園出場』……………	10
同期会報告……………	11
同期会開催予告……………	14
お便りから……………	15
平成22年度 新年理事会、評議員会報告 ……	16
教職員人事異動・物故者芳名簿……………	16
平成22年度会報代・協力金 ……	17
平成22年度総会・懇親会 ……	20



ご挨拶



尚和会会長

大島 光昭

(高十五期)

去る三月十一日に発生しました、東日本巨大地震の被災者の皆様方へ、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

被災地には多くの尚和会の会員の方々もいらつしやると思いますが、どうか一日も早い復旧復興がなされることをお祈り申し上げます。

私事で恐縮ですが、結婚し直ぐ勤務の関係上仙台で新所帯を持ち、七年間東北で住み二人の子供もここで生まれ、多くのお世話になった人達のことを想いますと心が痛んでなりません。

尚和会におきましては、震災後開催の理事会・評議員会で出席者全員のご賛同ご承認をいただき、日本赤十字社を通じ被災地へ義捐金として百万円を寄付させていただきましたことをご報告させていただきます。

さて、今年度は卒業生三百四十四名(全日制三百十名、定時制二十八名、定・通併習六名)を新会員としてお迎えすることができましたことは、誠に喜ばしいことと思っています。桜塚を巣立った若き皆様が、がんばれ日本の復興の先兵になって欲しいものです。昨年度の会の活動では、尚和会館及

び母校L教室への空調設備設置と給湯設備取付で、会員、学校、在校生には大変喜ばれました。

昨秋には、野球部OB会が大阪府代表で「マスターズ甲子園」に初出場。宮城県代表校加美農業高校と対戦し勝利し、試合終了後、夢にまで見たあの甲子園球場にわが母校の校歌が流れた時は、胸につかえるものを感じたものです。是非今年も！。そして現役野球部も昨年の夏の大会大阪府予選でのベスト8の屈辱を晴らし初出場を！。

また、本年度予定していました恵風苑・恩露園の整備は、創立75周年の記念事業の一つとして来年度の実施とさせていただきます。会員各位の更なる協力金のご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

ところで、昨秋開催の東京支部大会直後に、支部長大岩昭夫氏(高十一期)が急逝され、この度北村正和氏(高十四期)が新しく東京支部長に就任されました。大所帯の東京支部とも連携を取り、今後も会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展に寄与すべく役員一同努力いたします所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



オール桜塚で生徒の成長を！



桜塚高校校長

小山 正辰

原稿を認めています4月4日は、正門の枝垂れ桜が満開で、青空とのコントラストが映え、道行く市民の方々にも楽しんでいただいています。私も校長室を一步出て廊下の窓から、恩露苑の枝垂れ桜に見とれてしまっています。

「春は桜」、新しい年度を迎えました。8人の教職員が新たな任地で力をふるわれます。9人の新たなメンバーがこれからの本校を支えてくれます。1年生も361名入学して参ります。3月1日に卒業した310名が、今年からお世話になります、よろしくお祈りします。尚和会の皆様には、これまでも増して、母校の教育活動、後輩の育成にお力添え賜りますようお願いいたします。

さて、私は、3年を見通した学校経営計画というものを作成し、以下の3つを柱に立てました。詳しくは、HP等で見て頂ければと思いますが、

- ①オール桜塚体制の構築
  - ②学び合う桜塚
  - ③人間力育成の桜塚
- の3つです。

殊に①では、来年、再来年を目指して、以下のような事を考えました。決して簡単ではなく、実現を危ぶむ声も聞かぬではないのですが、「オール桜塚」としての一体感をなんとしても造り上げたいと考えています。そのために今年度は準備の年となります。具体的な話を持って参りましたときには、是非、お知恵とお力をお貸し頂きたいと存じます。

H24 | 学校支援組織の集約化。たとえばNPOの立ち上げ

・同窓会(尚和会)、PTA、桜援会(PTAOB会)などの学校支援の力を結集させる組織をつくる。  
・部活動支援、土曜日講習等に学校と同組織が一体となって取組み、生徒の学力や人間力を向上する機会を支援する。

・NPOとしての形を模索し、より広範で裁量権の高い組織であるためのNPOをこの年からスタートさせる。

H25 | オール桜塚体制の充実と発展

・私立高校の授業料無償化に対抗出来る公立高校としての地歩を確立し、地域の信頼を得、オール桜塚体制を検証する。  
・不備ある部分は改め、組織を確立し、80周年に向けて教育活動を充実発展させる。

本校HP「本校の特色」のところに、

昨年より「巻頭言」として、毎月様々なことを書かせて貰っています。ぜひ、ご覧下さい。

着任のご挨拶



定時制の課程 准校長

加藤 孝之

尚和会会員の皆様、平素は定時制の課程の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。この度、鈴木弘一先生に代わり、准校長として赴任いたしました加藤孝之です。どうぞよろしくお願いいたします。

大阪府立高校の定時制の課程は平成17年度に「昼間に働きながら高校に入学を希望する生徒の他、様々な目的や事情により夜間に就学することを希望する生徒など、夜間という条件の中で目的意識を持って学習する生徒の就学の場として、教育内容の充実を図る」ことを目的として、単位制や二学期制などを導入し、15校が再配置をされました。本校もその内の1校です。

私の前任校は茨木工科高校の定時制の課程で、再配置された2年目からの3月まで5年間勤務させていただきました。ですから、定時制の課程については私なりに理解しています。また、豊中市には半世紀近く居住してお



私の故郷でもあり、以前から本校のことは地域から信頼されている素晴らしい学校であると感じておりました。このような学校に赴任できまして、非常に嬉しく感じています。

さて、本校定時制の課程にも様々な目的や事情を持ちながらも一生懸命頑張っている生徒がたくさん在籍しています。それらの生徒一人ひとりに寄り添い、きめ細かく丁寧な指導に努め生徒たちの個々の力をさらに伸ばすために、教職員とともに一丸となつて微力ながら全力で努力していきたいと考えています。

今後とも尚和会会員の皆様には本校定時制の課程の一層の発展の為に、今まで以上にご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

離任にあたって

定時制の課程

前准校長 鈴木 弘一

尚和会会員の皆様、平素は定時制の課程の教育活動に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、二年間の在任中は、さまざまなご支援をいただきありがとうございます。

私は、四月一日付で、東大阪市にあります城東工科高等学校の校長として赴任いたしました。

わずか二年間という短い在任期間で

したが、初めての定時制の課程での勤務は、私にとって、新しく経験することばかりで、とまどうことも数多くありましたが、今となつては良い思い出となっております。

定時制の課程には、さまざまな課題や悩みを抱えながら精一杯がんばっている生徒が多数在籍しています。そのような生徒たちに対する、きめ細かく、丁寧で、生徒に寄り添った学習指導や生徒指導を充実させ、生徒たちの力をさらに伸ばすために、教職員とともに微力ながら努力してまいりました。

その中でも一番の思い出は、「笑顔のあいさつ運動」です。毎日、登校する生徒に通用門で「おはよう」と笑顔で声をかけ続けました。だんだんと返

学校だより

63期 三年間を終えて

三年主任 足立 隆

「1000日の舞台の幕が開く」でスタートした六三期生の舞台も、無事幕が閉じた。

緊張と不安の色を隠さず桜塚という舞台に立った生徒達は、心身ともに成長し旅立っていった。さまざまに満足・不満足はあるだろうが、将来に向けて輝かしい思いをもって巣立っていったと信じていたい。

我々担任も、第一章・第二章・第三

事をしてくれる生徒が増えていったことが、私の励みになりました。また、部活動を終わって下校する生徒たちに声をかけながらの下校指導も、生徒たちとの距離を短くするのに大いに役立ったと思っております。まだまだ、思い出は尽きませんが、この辺で筆を置きます。

定時制の課程の教育活動にご支援をいただいた大畠会長をはじめとする尚和会会員の皆様には改めてお礼を申し上げます。定時制の課程の一層の発展のために、今まで以上に協力とご支援をお願いいたします。二年間、本当にありがとうございました。

学校だより

章とそれぞれの感慨がある。幼さを残した顔立ちから自立から大人の顔に変貌していった子供たちにその感慨を重ねている。彼らは桜塚でどれだけのことを学んだらうか。それを糧に、それぞれが無限の数のステージに臨んでいくてくれるだろう。社会という無限の自由の中で一人旅立つ彼らにこう伝えたい。「責任を持つこと。思いやりを持つこと。この二つがあれば生きてゆくことは可能だと思う。どのステージに上がるのか？すべて皆の選択次第だ。」

「子供たち」。つい使ってしまった

言葉だが、次に会うときは互いに「一人の人」。大いにそれぞれのステージの話で盛り上がりたものだ。私たち担任も、君たち六十三期生から多くを学んだ。三年間ありがとうございました。そして・・・、楽しかった。

さあ、仕上げへ

64期生2年学年主任 桑田 誠

2年前に入學した64期生も3年となりました。昨年は宮古島への修学旅行へ行き、島の方々との交流を深めました。

部活動においても部の中心として試行錯誤を繰り返しながら成長していききました。学習面においても、日々の授業の取り組み、自習室の活用や外部模試の受験など、自ら学習していこうという姿勢をみせてくれつつあります。

いよいよ卒業・受験へと向かう学年となりましたが、自己の進路実現に向けて努力してくれるものと信じています。さあ、高校生活の仕上げの1年を悔いのないようにすごし、後輩へ伝えていってください。

2月14日、雪が降りました。

今年はずっと寒く、雪が降った日も多かったですね。本校でも何度か雪が降りましたが、2月14日は昼から降り始め、3時頃には恩露園、恵風苑が白くなりました。





### 主な学校行事

## 平成二十三年度主な行事

桑田 誠

在校生の元気な姿を見に来て頂きたく思います。

#### 【全日制】

5月30日～6月17日 教育実習期間

6月1日、3日 授業公開

6月9日(木) 体育祭

(予備日は10日)

7月20日(火) 終業式

8月22日(月) 3年授業開始

30日(火) 1・2年授業開始

9月10日(土) 文化祭

11月5日(土) 学校見学会

12月14日～17日 2年修学旅行

12月22日(木) 終業式

1月26日(木) 1年合唱コンクール

2月29日(水) 卒業式

15日(火) 終業式

#### 【定時制】

5月14日(土) 遠足

6月15日～21日 授業公開

7月6日～19日 球技大会

8月30日(火) 授業再開

7日(金) 前期終業式

12日(水) 後期始業式

17日～25日 文化祭準備期間

27日・28日 文化祭

10月30日～11月1日 3年修学旅行

1月10日(火) 授業再開

2月29日(水) 卒業式  
15日(木) 終業式

### この一年間の進路状況について

進路指導部長 谷口 亮

今年卒業した六十三期生も、長期にわたる入試の日々を最後までよく健闘し、多くの生徒が希望進路を実現しました。また、就職・公務員希望の生徒も、粘り強くがんばり目標を達成しました。

入試が近づくにつれ、放課後の講習に熱心に聞き入る姿や、廊下で質問する生徒を目にすることも多くなりました。進路閲覧室では、始業前の自習を日課とする生徒、毎日下校放送まで勉強を続ける者、また、三月半ばまで後期試験対策に取り組む生徒達の姿が見られました。最後まであきらめずがんばる生徒の姿に感心しました。在校生もこういう熱い気持ちを継承し、自分の将来を真剣に考え、自ずと納得のいく進路が実現していくものと確信しています。



### 二〇二二年度入試合格者数(浪人含む)

国立大学	主な私立大学
大阪教育大学	関西大学
九州大学	関西学院大学
大阪市立大学	同志社大学
大阪府立大学	立命館大学
京都府立大学	甲南大学
兵庫県立大学	龍谷大学
京市立芸術大学	京都産業大学
和歌山大学	近畿大学
鳥取大学	武庫川女子大学
神戸大学	追手門学院大学
福岡教育大学	京都女子大学
島根大学	関西外国語大学
神戸市立外大	大阪工業大学
1	3
1	1
1	1
1	2
5	2
1	1
1	1
1	1
3	2
1	1
1	1
11	73

### 母校クラブだより

#### 陸上競技部

部長 松原 勤太

僕たち、陸上競技部は、現在顧問の山上先生を筆頭に短距離24人、長距離11人、マネージャー3人の計38人で元気よく活動しています。

部内の雰囲気は、先輩・後輩という隔たりを越えて全員仲が良く、部員一人ひとりがチームの為に、仲間の為に思い行動できるので、チームとして良い感じだと思っています。そんな仲の良い僕達ですが、練習中は仲間がライ

バルとなり、一本一本の走りに勝負が生まれます。この陸上部の良さは、練習するときとことんやり、休む時はしっかり休むといったはじめがしっかりできているところです。その為、休養中には笑顔が絶えず、走っている時は真剣そのものです。実力のレベルも皆高いのと同時に、笑いのレベルもインターハイレベルです。本当に皆陸上と仲間が大好きです。

春が来ると4月には各地で記録会が行われます。5月にはインターハイ予選が始まり、3年生にとって最後の試合が始まります。そして3年生が引退した7月下旬からは、楽しくも厳しい合宿が行われ、秋になるとシーズンも終わりに近づきトラックの最後の試合として秋季大会があり、夏の練習の成果が試されます。こうして短距離はシーズンも終わり冬季練習が始まり、長距離は11月・1月と駅伝があります。僕達、陸上部の一年は、こうして過ぎていきます。

これからも一人ひとりが良い成績を試合で出せるように、お互いに競い合いながら練習を頑張っていこうと思います。

#### ラグビー部

顧問 渡辺 宗治郎

65年の伝統を誇るラグビー部は1980年代ラグビーの隆盛期をピークに下降期を辿っています。その中で

桜塚ラグビーは、単独15人制作ラグビーの公式試合に棄権することなく出場し続けています。その裏には、桜塚生のクラブに参画する気持ちと優しさの現れです。次期オリンピック種目に採用されるとともに、2019年ワールドカップW杯日本開催も決定していることもあり、今後ラグビーに触れる機会も尚和会のお力添えをいただきながら活動を続けたいと思います。

#### 愛されるバドミントン部で

あり続けよう

顧問 田中 淑

2010年度は6月に行われた豊能地区大会で、団体戦では上級と初級の両部とともに優勝することができました。また、秋の個人戦ではシングルス上級で3位、初級で1～3位を独占するなど、近年にない好成績を残すことができました。本場にうれしいことです。部員達には、単に高校時代の部活動として、公式戦に勝ち負けすることをめざすだけでなく、日々の活動を通じ、運動部員として学校の様々な活動の核になっていくように、毎日の努力と献身的な態度を失わない誰からも信頼される人間に成長して欲しいと思っています。また、それに加えて生徒たちが卒業して家庭に入っても、バドミントンを愛し、人生を豊かにするために生涯スポーツとしての技術の土台を作るといった目的をもつ

て、指導しています。

演劇部の活動報告

部長 星野 秀明

2010年度3月現在男子5名女子4名でいろんな目標に向かって一歩一歩ゆつくり進んでいます。

昨年のコンクールでは、63期の先輩が個人演技賞を受賞しました。

現在は次の文化祭やコンクールに備えるのと同時に昨年2010年12月から原田・利倉方面を運行しているエコラボbusのPRビデオを製作しています。

今年度も桜塚高校演劇部の名を出来るだけ多くの人に知ってもらい、少しでも自分達の劇を見て楽しんでもらうため一致団結して頑張ります。

音楽部

顧問 河村 光子

部員一人となり、危機状況にあった音楽部ですが、何とか持ちこたえて昨年は文化祭に参加できました。

音楽の授業や合唱コンクールでは元気な歌声を聞かせてくれる生徒たちです。音楽部に入部してもっと多くの合唱の楽しさを体験してほしいと思うのですが、少人数ですが、今の部員で少しずつ歌の輪を広げていきたいと思えます。

ソフトテニス部

部長 築山 文香

現在、1年7人、2年7人の計14人で活動しています。

私たちの目標である、中央大会出場に向けて、日々練習に取り組んでいます。

その結果、秋期団体戦、春期団体戦また、個人戦でも、中央大会出場を決めることができました。

これからも、より上を目指し、みんな頑張っていきます。

女子バスケットボール部

部長 白石 華蓮

現在女子バスケットボール部では、プレーヤー五人・マネージャー一人の計六人で活動しています。人数が少な

いので、様々な学校と合同練習をし、より効果的な練習を取り入れて日々練習に励んでいます。一年生だけということもあってまだまだ未熟なところばかりです。卒業された先輩方がお時間を

作って教えるに来て下さることが、とても励みになっています。公式戦で勝ち進めるよう、又、先輩方が築かれた伝統を壊してしまわぬようにこれからも頑張りたいと思います。

ダンス部

部長 大西 沙季

1年間を通して、今年は新しい顧問の先生が来てくださり、発表する場も

多くなり、地域の方々とのつながりも増えました。これからも部員みんな力を合わせて頑張ります☆

(22年度実績)

7/17(土) ダンスしてあそび

豊中市の子供とダンスを踊った

7/24(土) 螢池納涼祭

8/1(日) 箕面祭り

8/7(土) 豊中祭り

8/11(水) ダンススタジアム予選

《予選通過!!》

8/12(木) ダンススタジアム決勝

9/11(土) 文化祭

9/18(土) とよぶんダンスコンテスト

11/6(土) 中学校説明会

11/7(日) 大阪高校創作ダンス発表会

11/13(土) すこやかフェスタ：桜塚小学校

1/30(日) 豊中ダンスフェスタ

3/29(火) ミスダンスドリル大阪大会

体操部

部長 伊賀 悠

私たちは現在部員八人で活動しています。人数は少ないですが、毎日頑張

って、大会に向けて練習しています。部員同士も仲が良く、毎日楽しく活動

しています。昨年の大会では、女子が団体で入賞し、男子は個人で入賞しました。

また、夏休みにはOB OG会があ

り、卒業された方と一緒に練習する交流もあります。そして、春休みには合宿もあります。今年も入賞目指して頑張ります。

吹奏楽部

部長 尾西 萌

吹奏楽部は部の運営をすべて部員で行い、毎日楽しく活動しています。主な活動として、8月に行われるコンク

ール、学校行事、地域の演奏会など様々な舞台で演奏させて頂いております。その中でも部員にとって1年の締めくくりの行事としている『定期演奏

会』は毎年5月に豊中市立アクア文化ホールで開かせて頂いています。試行錯誤を繰り返しながら、お客様に楽しんで頂ける演奏会にしようと心がけて

おります。お聞き苦しいところも多々あると思いますが、どうぞ一度、足を運び下さい。

水泳部

マネージャー 井上 綾弓

最初に「東北地方太平洋沖地震」被災者の方々へお見舞い申し上げます。

昨年の水泳部は、8名の新入部員が加わり計33名でシーズンを迎えました。

中央大会で63期の先輩方が引退なされ、夏休みに入ると同時に合宿が行われ猛暑のなかコーチの厳しい指導の下、一人一人が目標・記録のため練習

に励みたくさんの先輩方にもお越しい

いただきました。

そして毎日の練習の成果が大会などで形となり、多くの記録を残すことができました。

今年度も水泳部らしく仲良く協力し合い、たくさんの記録を出せるように選手・マネージャー共に努力しようと思えます。

野球部

64期マネージャー 大坪 春榴花

私たち硬式野球部は現在3年生12人、2年生24人、マネージャー4人で活動しています。定時制があるため放課後は17時までしか練習をすることが出来ませんが、朝練や昼休み、そして放課後の短い時間を上手く利用して毎日有意義に練習に励んでいます。

去年の夏は大阪大会でベスト8入りを果たすことが出来ました。このような成績を残せられたのは、63期生の先輩を始め、部員全員の日々の努力、そしてたくさんの支えがあったからだと思います。

私たちは先輩方に「努力は必ず報われる」ということ、仲間の大切さ、一人では小さな力でも仲間や応援してくれる人達の支えがあれば、もっと強くなれるのだ」ということを教わりました。

たくさんのことを教えてくださった先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。

しかし、もちろんプレッシャーもあります。先輩のように強くならなけれ



ばと焦る気持ちと気合が空回りしてしまふこともあります。実際、先輩が引退して新チームになって初めての公式戦では初戦敗退、練習試合でも満足のない試合が出来なかったことも少なくありません。それでも諦めずに、そして先輩方に教わったことを忘れず、少しずつでも成長し、今年の夏には私たちが笑って引退できるようにこれからも頑張っていくきます。

**男子ハンドボール同好会**

部長 藤原 魁人

僕達男子ハンドボール部は二年前に結成されたばかりのまだ新しい部活です。

結成当時はチーム全体が全くありませんでしたが、沢山の試合、練習、そして二度との、合宿を通して日に日に成長、団結をできています。部員は三年生十六人、二年生八人です。そして今三年生はもうすぐ引退と言う事もありチームは更に団結しています。ハンドボール部は昔、一度あったと聞きます。僕達はその卒業していった先輩方にも恥じないようなチームづくりをしていきます。

**女子ハンドボール部**

部長 石澤 菜穂

私たち64期6人は先輩(63期)4人と頑張ってきました。人数が少なく練習も限られたものしか出来ませんでし

たが、先輩後輩の仲は良く毎日充実した部活動でした。

試合では結果を残せませんでした。先輩から学ぶことは多かったですが、後輩(65期)は16人の入部があり戸惑うことも多くありましたが、今までできなかった練習ができたりしました。3年になりインターハイ予選に向けて頑張ります。

**投稿記事**

**「ブラジルで母校を想つ」**

高校9期 房前憲璋

いま三月の初め、晩夏とは言え気温は毎日三十度を超えています。大陸の事ゆえ湿度が高くなく、日陰に入ると涼風が吹いて凌ぎやすいのがブラジルです。

今週末から全国で四日間に亘って楽



房前氏ファミリー 右端本人

しいカーニバルが始まりますが、その模様も時代と共に変化して来ました。

昔は、カーニバルには、所属する社交クラブの大サロンで会員達が豪華な衣装をして踊り興じていたのが、今では誰もが通りに出て、トラックの上で奏でるバンドの大音響に連れて奔放に飛び跳ねながら進むのです。でも、この期間中騒音から逃れて静かな所に旅する人も沢山います。

僕がブラジルに移住したのは今から五十四年前の十八歳、高校生活を終えた一九五七年の暮れでした。田舎のコーヒー園で働いて苦労もしましたが、見切りをつけて町へ出て、色々な職種を経験しました。

一方、好きな音楽では町のブラスバンドに入ったり、弟達を率いて自分のバンドを編成して、ダンス会やカーニバルではクラリネット、テナーサクソスにトランペットを吹いて、良い内職になりました。

でも、長男の事ゆえ学校に行けず、ポルトガル語は耳で聞いては真似をしたり、分からぬ本を読んだりして覚え、現地の中高生の間違いを直せる程の知識があります。これで日本から来る大企業で通訳や翻訳の仕事も随分こなしました。

又、独学で覚えた鍼灸の仕事もクチコミで出来た顧客がいますし、連邦大学付属のアフリカ・東洋文化研究センターでは、自分で書いた教科書を使っ

て日本語を教えていますので、大した収入にはならずとも心身の老化を防ぐのに役立つています。

ところで、高校生活の第三学年は家業の都合で転校になりましたが、最も多感な一、二年生は桜塚高校で過ごしました。

高校生となつての校庭での記念写真は今でも大事にしていますが、その撮影の時は胸がワクワクしていたのを覚えています。

担任は生物の吉田源三郎先生で、とても情熱のある先生でした。黒板に色チョークで描かれる細胞の絵を懸命に描き写している内に生物が好きになりました。でも、学校には有名な怖い先生もいましたよ。その数学担当の肥田ン先生も、あの記念写真に吉田の源さんの横に座っています。

一年生での部活は仲良くなった友達と共に柔道部に入りましたが、道場は、建て直し前の昔の講堂の硬い床に畳を敷いて使っており、その床下には確か食堂があつて、時々仲間とカレーうどんを食べたものです。

当時旧校舎も三階の突き出したテラスの上に大きな古い反射望遠鏡が据えてあり、ある時、六甲山の山腹を眺めようとしても、反射用の凹面鏡がひどく腐食していて、駄目でした。それでも、太陽なら見えるだろうと、先を争って接眼部に眼を当てるや否や眼底にドンと激痛を感じて飛び退きました

が、これは黒フィルターが入ってなくて危うく網膜が焼けることでした。

二年生の時は軽音楽に興じ、クラリネットを担当しましたが、ある文化祭での出番の前に誰かが楽器を触り、シの音の一番長いキーが外れてしまっているのに気付かず、ソロに入ったらとんでもない調子外れの音が出たので、舞台上でまごついてしまい、ピアノを弾いてるマスターの所へ駆け寄って言い訳するというハプニングで、会場が笑い声で沸き立った思い出があります。それにしても学校の中庭はともきれいで、リードを削る為にトクサの茎を取りに出た時は暫く庭に留まっていたこともありました。



房前氏は後列左端 (二年次)

最近、やっと連絡がとれた尚和会の役員様のご厚意で送って頂いた機関誌

の写真を見て、殆どの建物が改築されているのを知り戸惑いましたが、もし今訪れても庭の美しさは変わらず堪能できそうですね。

本年七十二歳になりましたが、高校時代の事を思い出すと、あの頃の十六〜十七歳の気分になかなれないのです。在校中の皆さん、それに人生建設途上の皆さんもいつになっても桜塚高校時代の事が忘れられないでしょうか、よき友や良き思い出を作られる学校生活を送っていただきたいなと思っております。

もし、どなたからでもメールを頂けたらこよなき幸せに存じます。  
kirebasami@yahoo.co.jp ですので。  
(2011.3.3記)

(注) 房前氏は昨年、尚和会のホームページをブラジル(在住のバイーア州サルヴァドール市は首都ブラジリア北東1,000kmに位置)でご覧になりブログに投稿されました。以後、私とメル友となり母校のことや尚和会のこと等のやり取りを続けております。  
(高15期 大島光昭)

高校4期 林 正宏

毎年このゴールデンウィークの連休中に到着する『尚和会報』を、楽しみにしており、今年も、早速、懐かしく拝見しました。

喜寿も過ぎて、思えば、私たちは、子供の頃に唱歌で歌われた「トントン

お肩を叩きましょう」と、縁側で日向ぼっこをして、孫に肩叩きをしてもらって居る、あの昔で言う『良い歳のおじいちゃん・おばあちゃん』に、なりました。この時だけは、一瞬にして、六十数年前の青春時代に戻ります。同窓の皆さんの消息も、母校の現状も、今では、年一回の尚和会報と年賀状だけで、僅かに知るのみですが、その都度、当時の思い出は限りなく広がって来ます。

『思い出は 何時までも そのまま』の心境です。

昨年、尚和会報で『昔の尚和会報』を探しているとの記事があり、手元にあった『第2号・3号・15号を送付』

致しましたが、今回の会長の挨拶記事に拠ると、創刊号から57号まで全部揃ったとの事で、少しでもお役に立てたかと安堵しました。

尚和会役員の皆さんの格別のご尽力には、ただただ感謝するのみで、小生に出来る事は、僅かに『協力金』を拠出する位です。皆様には、くれぐれも、宜しくお伝え下さい。

益々のご健勝を祈念いたします。

「被災地から」

高7期 加藤 恵美子

まるでスペクタクル映画を見ている様な、この世のものとは思えない未曾有の大地震、言葉がありません。想像を絶する数の亡くなられた方々の冥福を

祈り、行方不明者の捜索、出会えない家族の対面の早からんことを祈るばかりです。

千葉県も沿岸沿いですので、凄く長く感じる(5分余り)大地震でした。阪神大震災より遙かに怖かった。

即ち日本の事情がスッカリ変わり、全ての分野に大影響、それも長期戦になると思い、辛抱の腹を括らなくてはと思っております。いまだに毎日3、4回、大余震あります。地盤が緩んでい

るので二次災害が発生しなければと不安な日々です。安全で平常生活では日時が経つのが早いでしたが、今では1日

が長く感じられます。計画停電などがあり、全関東交通機関の間引き運転、道路渋滞と不安材料ばかり、少々、顎を出しています。暫くはあらゆる分野、経済、物流などが不安定になると予想されます。9回の海外ステイでの友人にも数名行方不明者、亡くなった若い友人もいて、天災とは言え遣り切れない気持ちです。

当地に来て10年、温暖で野菜、魚、豊富で美味しく、こんな良い所と思

っていたのですが、明日は何が起こるか?分からないのがこの世の常と痛いほど実感している最中です。阪神大震災

災よりも遙かに広範囲で膨大多数の避難者の方々、寒さの中、どんなに大変なことだろうと案じられます。

避難所で亡くなる方も出ましてもならない中にも敏速な対応をと祈るば

かりです。

地震当日、こともあろうに、私は自宅から一駅の映画館にいました。付近

は埋立地、即ち液状化、交通機関は全ストップ、JR京葉線「海浜幕張」駅

近くの安全な場所に避難、暖房、水、食べ物、WC、OKでした。幸いにシニアと言うことで、夜遅く親切な方の車

で当日中に帰宅する事が出来ました。当日、孫の両親は仕事場から帰宅

出来ず、停電中、火力の弱い簡易コンロ1個で、食べ盛りの男孫3人、計5人分の食事用意に汗だくでした。余震も度々、で地盤が緩んでいるので、二次災害が懸念され不安な毎日です。水道は

チョロチョロですが、断水より有り難いです。私宅付近も埋立地で生まれて初めて見る液状化現象がみられます。

家の塀の片側が傾き、玄関前の階段に隙間が出来ました。先ずは家族全員、無事なのが何よりも良かったです。

ドイツニールランド所在の浦安市は当時、三井不動産の江戸社長が当事者の反対を押し切って埋め立て間のない時期に急いで建設開園、毎年、1cmづつ地盤沈下していると言われていました

が、今回の大地震後、液状化現象がスゴイ!21日に再開園と謳っています。が、無理だと思われま

ようか?戦時中を知る者として空から弾丸が降っては来ないからとファンバツテル最中です。でも、放射能の方が更に怖い!関東は平野、風も強く、既に数値が出されました。特に未来ある若い、幼い世代の方々は防衛に努めて欲しいと切に願います。

初与党の民主党内閣はガンバッテハルとは言え、何となく後手、後手的な、

長年の平和ぼけ的な対処対応ではないか?と関東、東北在住者は思います。モット真実を国民に敏速にチャント伝えるべき!「外出時は帽子、マスク

(それも厚目)、眼鏡、手洗い、外出を控える」事を国民にモット、モット、

繰り返し繰り返し伝えるべきではないか?と思

15日は計画停電初日、千葉の全交通機関はストップ、陸の孤島状態デシ

タ。日頃の心掛けが?で慌てて荷物作

つたりの最中に近所のスーパーへ、店は見事に主な品物の棚という棚は空っぽと化し、物流は益々悪化傾向と思われ

ます。まるでスペクタクルの映画を見ている様ですが、長期戦の覚悟!これが現実、腹を括ります!

おめでとうございませぬ

平成22年11月3日

高3期生 上田 英之助氏が

瑞宝中綬章受章されました。

(阪大医学部卒 元国立療養所近畿中央病院長)



# 尚 和 会 通 信

## 一、尚和会会報有料制について

今、お読みの尚和会会報は有料制です。年間千円（同封の振込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930-3-31860 加入者名「尚和会」宛お願いします。会報発送者・会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

## 二、尚和会会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごと、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

## 三、「同期会開催支援奨励助成金制度」

### ・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業後5年を経過した年及びその後5周年単位毎の年の四月一日から翌年三月三十一日までの年度内に開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

### ・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

### ・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。（申請書用紙は会長宛請求のこと）

### ・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後

速やかに同期会開催迄に支払う。

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

## 四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会及び近畿大会にて優勝またはそれに準ずるもの、又は全国大会出場の場合とします。在校生諸君の活発な活動を期待します。

## 今年「同期会開催支援奨励助成金」を受ける事の出来る期

高女5	高女6	高8	高13	高18	高23	高28	高33
高38	高43	高48	高53	高58	高63		
定6	定11	定16	定21	定26	定31	定36	定41
定46	定51	定56	定61				

「同窓会開催支援奨励助成金」は、  
 1.卒業後初めて開催する同期会に交付します  
 2.卒業後5周年以降に5年毎に開催する同期会に交付します(上記の期が対象です)  
 (例卒業後8年目に初めて同期会を開催し助成金を受け取りましたが  
 続けて卒業後10周年にも開催することになりました……  
 この場合も助成金は受け取れますから申請して下さい。

## 各 期 連 絡 先

期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話

WEB 版 非 公 開



尚和会 平成22年度決算報告書・23年度予算

[収支決算] (自:平成22年4月1日至:平成23年3月31日)

(単位:円)

Main financial statement table with columns for items, budget, actual, variance, and 23rd year budget.

[貸借対照表] (平成23年3月31日現在) (単位:円)

Balance sheet table with columns for assets and liabilities.

以上、決算報告いたします。 決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成 23年 3月 31日 平成23年3月31日
財務担当副会長(定8期) 田邊 昭夫 ⑩ 会計監査(定13期) 中岸 澄江 ⑩
会 計(高29期) 旭 直子 ⑩ 会計監査(高31期) 佐藤稚加子 ⑩
会 計(高29期) 小林 佳代 ⑩

平成23年度 評議員会及び理事会予定表

Table of scheduled meetings for the board and council in 2023 and 2024.

尚和会平成23年度役員紹介



副会長(行事担当) 高15期 上田 幸子
副会長(総務担当) 高11期 吉田 和久
副会長(財務担当) 定8期 田邊 昭夫
会長 高15期 大畠 光昭



会計 高29期 小林 佳代
会計 高29期 旭 直子
副会長(広報担当) 高37期 高崎 健治
副会長 高29期 山澤 健二



支部長 高14期 北村 正和
会計監査 高31期 佐藤稚加子
会計監査 定13期 中岸 澄江

東京支部

個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預かりしています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 利用の目的について
①尚和会会報の発行・発送
②各役員会開催案内等の告知文書の発送
③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合
■ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。
■尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。
■尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。
■ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。
・法令の規定による場合
・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。
■個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問合せ先
〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局
TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825



# 野球部OBが甲子園出場

野球部OB会  
事務局(No.73)

〈大会第1日目(11月13日)〉11:00-12:30

桜 塚OB(大阪府代表) 5

加美農業OB(宮城県代表) 3

一 マスターズ甲子園2010

全国の元高校球児が出身校別にかつての間と同窓会チームをつくり、球児の憧れであり野球の原点でもあった甲子園球場で白球を追いかける夢の舞台を目指すものです。2004年に第1回大会が開催、今大会は第7回、全国で約400校が加盟、地方大会を勝ち抜いた16校のOBチームが甲子園大会に出場しました。

二 桜塚高校野球部OBチーム

大田監督(17期)以下約40名、年齢は25歳から64歳まで幅広く、還暦超えの選手が5名、先輩・後輩の壁がなく(？)、母校と野球を愛し、今でも甲子園に憧れる「おっさんチーム」です。練習なしのぶっつけ本番で試合、これを知った他校は「嘘や!!」と悔しがることしきり。

予選は第2回大会から出場、6年目にして甲子園の切符を手に入れました。実は、第5回大会で優勝、しかし、この年は大阪に出場枠がなく、甲子園は幻と化し、無念さだけが残り、2年後の今大会、それを乗り越え、遂に甲子園出場を果たしたのです。

三 2010大阪府大会(予選)

8月の猛暑の中、豊中高校、天王寺高校、浪速高校、決勝戦で三國丘高校の各OBチ



ムに勝利して優勝。監督と寺野主将(23期)を胴上げ、優勝の感激と喜びを味わうことができました。各校とも甲子園を目指して「母校の名誉と誇り」を胸に高校球児さながらの全力プレーを展開、苦戦の連続でしたが、真剣勝負の緊張感と醍醐味を楽しむことができました。

四 マスターズ甲子園2010大会

11月13日・14日の両日開催されました。40数年前が鮮明に甦る!!高校3年の夏に予選敗退、甲子園で見た球児が羨ましく眩しかったこと等々。しかし「40数年前の悔し涙は40数年後の嬉し涙になった」のです。将に、大会ガイドブックのタイトルの心境でした。

(一) 開会式は、夏の選手権大会進行曲で入場行進。子供の頃から夢にまで見た甲子園の土を踏みしめている!!と思うと胸が熱くなりました。また、かつての球友で今は亡き3故人(故奥田敏輝君・故三好 彰君・故岩崎敏明君)の遺影を抱いて共に行進、スタンドではご遺族が感激で涙されていたとのこと。甲子園は選手や応援の桜塚関係者・友人・家族等が共に感動できる素晴らしい舞台だと実感しました。

(二) 試合は、第1日目の第2試合で宮城県有加美農業高校OBと対戦、5対3で勝利、勝因は初回の先制攻撃と投手陣の頑張りだと思えます。1回表の攻撃は先頭打者から3連続安打で無死満塁、4番森澤が2塁打で走者一掃、更にヒットで1点を追加、いきなり4得点です。桜塚強し!!何点入るのか!!ベンチ

も応援のスタンドも大いに盛り上がりました。その後5回に1点を追加するも結局5得点、目標の2桁得点には遠く及びませんでした。

一方、投手陣は予選を通じて最高のでき、先発高須と2番手小原は130キロ超の速球を投げ込み、その後継投した各投手も満点に近い投球、憧れのマウンドで実力を発揮した彼らは実に頼もしく、大きく見えました。

甲子園大会は親善試合ですが、監督の絶妙の選手起用によりベンチ入り全選手(33人)が出場しました。予選でも全く出番のない万年控選手(※失礼!実は私もその一人)も代打や守備等で登場、家族や友人の皆様は「エッ!!ホンマ!!大丈夫?!!」ハラハラ・ドキドキしながらの応援だったと思います。

(三) 桜塚の校歌が球場に流れました。「月かがやけるさつき大空」甲子園で聴く校歌は格別で、改めて元桜塚球児であることを実感しました。尚和会の皆様も応援席で合唱、ベンチでは選手が「桜塚の校歌エエなあ」と話し合っているのが印象的でした。

(四) スタンドでは、伊川谷北高校吹奏楽部と甲南女子大学アリーディング部が友情応援、夏の高校野球を彷彿させる応援曲を連発して試合を盛り上げてくれました。その横では、大田会長、小山校長、尚和会の皆様「横断幕」を掲出、高校時代にタイムスリップしての応援、大いに「青春」を楽しまれたことでしょう。

五 現役桜塚球児へ

桜塚高校野球部は「甲子園」が永久不滅の目標です。野球部OBとして今回の甲子園出場が少しでも現役球児の刺激になればと願っています。大阪の公立高校にとって甲子園の道が遠く厳しいのは十分承知、そんな中、昨夏は準々決勝に進出、甲子園まで後3勝、もしかして…の期待を抱いたのは私だけではなかったと思います。今年の夏はもっともっと熱い夏になるよう期待しています。

頑張れ桜!!目指せ甲子園!!夢は叶う!!

六 おわりに

今回の甲子園出場に際し、大田会長をはじめ大勢の皆様から、力強い応援をいただき本当にありがとうございます。かつての仲間と共に憧れの甲子園を満喫できましたこと、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。予選情報等を「尚和会HP」に掲載します。

## 制服リニューアル

### 「制服変えたいねん」

2008年9月、63期生(当時1年生)のこの一言から制服改定は始まりました。

活性化を求める学校サイドの要請があったことも事実ですが、63期生が制服の改定を公約に生徒自治会執行部に立候補してこなかったら、新しい制服の検討作業は生徒の“自治”を標榜する桜塚にとって望ましい形にはならなかったでしょう。

本格的な始動は2009年度、手始めに執行部は制服アンケートを実施しました。その結果、全校生徒の80%以上が制服を変えることを望んでいることが判明し、これを受けて執行部は学校への働きかけを強め、教員の制服改定実行委員会が組織されるに至りました。

3学期の始業式において、執行部が全校生徒に向けて読み上げたアピールがあります。「みなさんが在学中に制服が変わるとは言い切れない」で始まり、「この制服には50年以上もの歴史があり、改定には大きなエネルギーを必要とします。ぜひ、未来の桜塚生のためにも力を貸してください。」で終わるこのアピールこそが、執行部の力量と純粋さを如実に物語っています。自分たちが着ることのない新制服のため

に全力を尽くした執行部の姿勢は賞賛に値します。

2月の制服メーカー5社に向けた説明会と3月の第1回プレゼンテーションには執行部生徒も出席しました(他校では類を見ない形だそうです)。新制服のコンセプトは執行部が説明し、プレゼンにおいても意欲的に質問する姿が印象的でした。

それを受けての全校生徒投票も「桜塚」らしいものでした。尚和会館に投票会場を設け、5社のサンプルを展示、教員と執行部生徒が立ち会う中、生徒証を持参した生徒のみが投票できるという形で実施されました。HR教室で投票用紙が配布され、漫然と投票するといった形をとらず、自ら投票所に足を運び、自らの目で確かめた生徒だけが一票を投じるという、まさに“自治会”を名乗る桜塚にふさわしい形でした。

6月、全校投票により2社に絞られたメーカーに2回目のプレゼンテーションをお願いし、もちろんこの場にも執行部生徒が出席しました。そして協議の結果、教員・生徒執行部とも同じ業者を支持、業者の決定を見ました。その後ボタン・リボンやエンブレムなど細部について協議し、生徒アンケート以来、足かけ15ヶ月に及んだ新制服は完成の時を迎えました。

この3月、63期生は新しい制服を着ることなく卒業していきました。そして4月、桜塚高校は新しい制服に身を包んだ66期生を迎えます。

教諭 古森 秀昭





# 同期会報告

## 桜花会プラスワンのお知らせ

高女八期 中村 陽子

平成二十二年度、桜花会は、一つの区切りという事もあり、予想を上回る出席者に、ホテルの部屋を変更する程の賑わいとなりました。

今年の参加者の中には、突然の大怪我に足の自由を失った長野さん(愛称クマちゃん) 現在北野さん、そしてもう一人、福武さん愛称(まっちゃん) 現在西田さんは、病後の後遺症でリハビリ中、少し杖を頼りに、家族の送迎を受けて、参加して下さいました。

車椅子での北野さんを今回迎へる事が出来たのは、小澤さん(お磯)の深い暖かい友情があればこその実現でした。

小澤さんは、前以て、車椅子介護の講習会を受けに行ったり、トイレの介添えの練習に通い、ホテル側には車椅子での対応トイレがあるかを調べたり、車椅子で移動出来る車の手配やら本当に心からお世話をして下さいました。会場に着く迄から無事帰宅される迄の道中、事故があつては大変とどれ程気を遣われた事でしょう。

今年の欠席の理由は、自分の健康に自信が無くてと云う人が多かったの自分健康でも御主人が要介護の身であり、一人では留守が出来ないと云う方と二つの理由がありました。でもその中に、元気で海外旅行を楽しまれて居る方もあつたりでした。

年々出席者が少なくなつても、年度の桜花会という目標があれば、楽しい励みになるという意見が多く、その

結果、二十三年度は、桜花会プラスワンを企画しました。

二十三年度は、今迄と内容を変えますのでお間違いのない様に。

今迄の様に、ホテルを予約しますと、人数の確保や当日の参加者の変動により予算の目安を立てるのも困難となります。

そこで長らく親しんで来ました千里阪急ホテルではありますが、梅田に会場を変える事で意見が一致しました。

梅田グランドビル27階 白楽天  
六月六日は、変わりませぬ  
五月に案内状を差し上げます

世話人 石原綾子(山部)

小澤澄子(磯田)

中村陽子(高城)

桜花会のプラスワンがプラスツープラススリーに続く様にと願って居ります。

### 追記

二十二年度桜花会の後、北野さんからお葉書頂きましたのでその一部を紹介させて頂きます。

お磯や中村さん他の深い愛に包まれた事を感謝して居ります。一日も早く健康になって喜んで頂きたいと頑張っています。

「私にも足があつたのだ 涙と汗と歩行のリハビリ受ける」

以上



## 第4期には華がある

高4期・M生

昨年喜寿を祝った高4期の会場大阪ヒルトンホテル真珠の間は、集った男女95名の昂ぶりと交歓の高揚感で、広いはずのスペースに不満を抱くほど。その余韻は未だ心に染みえています。

高齢化時代とはいえ、やはり77歳で生きていることは世間体にも自慢の大成功。全員が互いを讃え喜び合う多くのシーンが忘れられません。同期という1点で見事に溶け合った瞬間でした。

高4期は普段から小グループであ

れ、任意の呼びかけで集うパーティーであれ、交流の機会が盛んにもたれていと聞きます。こうした親睦は高4期に限らないでしょうが、知る限り

「次は何時？」と互いに求め合う思いの深さは他の比ではなさそうです。それも無目的ではなく男女の共感が得られるリーズナブルな趣向が企画される

ケースが殆どで、参加による一刻の愉しさは日頃の皺の伸びを感じさせずにはおれません。さらに加齢による個々の事情から解放された心地好さのせいもあるでしょう。もう一つ参加する気

持には、心を奮わせる特別な装いがあります。こういった普段にない刺激が「次は何時！」と気を馳せらせている

ようです。参加しないまでも会合の案内を発信する遣り取りによって互いの意志や事情が判り合うことも同期の連繋に役立つ

と思っています。

七十七を生きている

めぐる軌跡に浮ぶ顔

流れる雲をまほろばに

老いを紡いで生きている

七十七を生きている

映ろう夢は走馬燈

夕焼け空の雲に似て

老いを灯して生きている

七十七を生きている

落日燃やす我が心

しじまの宙に生命をとかし

老いを奮わせ生きている

改めて思います。年齢が人を求め、人は年齢を超えて華咲かす。高4期は次





なる希みを約束しました。傘寿を祝うことを！

平成23年2月吉日

### 高校七期 卒業五十五周年記念同期会

世話役一同

時雨月の、あいにくの天候にて、前日から早朝にかけての強い雨風で出足がたいへん心配されましたが、総勢八十名の参加となる賑々しく且つ盛大な同期会開催となり、世話役一同、感謝感激いたしました。

日時 平成二十二年十月九日(土)

場所 ホテルグランヴィア大阪

二十階 名庭の間

ご来賓として、恩師水田紀久先生、尚和会大畠光昭会長の両氏にご臨席をいただき、磯京子さんの司会にて、その幕が切って落とされました。

冒頭に世話役代表より、ご来賓並びに参加者全員に謝辞が述べられた後、今は亡き恩師、旧友を偲び黙祷を捧げ、来賓祝辞へと進み、大畠会長から学校及び尚和会の現況報告、水田先生からは昔懐かしい、逸話などが披露され、会場は一層、和やかにになりました。

さて、いよいよ開宴、松浦順子さんの乾杯の音頭が声高らかに唱えられ、宴酣となり、さらに加藤恵美子さんの「シニアよ大志を抱け！」の出版発表が花を添えました。派手なアトラクションもゲームもありませんでした。懐かしく楽しい歓談は止まることなく、時間はどんどんと過ぎ去り、延々三時間にもおよび、名残り惜しいな学校歌が斉唱され、締めは林下由美子さんの挨拶で、閉会となりました。

写真撮影は前回同様、山下真一君のご好意、また、看板、式次第の作成は迫田雅子さんにご無理を申し上げます。



た。このように参加者全員で成し遂げた同期会でありました。この紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

尚、末筆になりましたが、尚和会よりの助成金に感謝いたし、残金より僅かながらの寄贈をさせていただきます。報告といたします。

関 高明

### 行雲流水の日々を語る

卒業五〇周年記念同窓会

高校12期幹事一同

二〇一〇(平成二十二年)年十一月十七日(水)秋冷の中、丸ビル大阪第一ホテルにて、出席者恩師中西昭次、二階堂洋両先生を含め七十八名で、落ち着いた弁当形式で開催した。開式の前に集合写真を撮り、幹事代表の斉藤嘉明さんの挨拶に引き続き中西先生の乾杯の音頭で賑やかな中に和気藹々と会は、澤田克彦さんの司会で進められた。今回は東は東京や神奈川方面、西は福山、遠くは大分からの初参加もあった。そのような中、行雲流水の日々を語りあった。連れ合いを無くした人、病気を克服した人また、親の介護の中を駆けつけた人、絵画など趣味に生きがいを見つけている人、ボランティアで地域とつながっている人、野菜作りに精を出している人など、人生の目標を見つけ前向きに生きている姿を交換しあい有意義なひとときとなった。そのような中、五年に一回の同窓会では物足りないという有志の意向で、歴史舞台や花観賞・寺社巡りを兼ねる親睦会を立ち上げた。千円の会費で年報も発行される予定だ。

両先生からも御言葉を戴き、次回ご壮健でお会いできるのを祈念している。今回の開催に当り、尚和会より助成



金を戴き、また学校の塀が国指定文化財に指定され記念の銘板を作成され、リーフレットが人数分あるとのことでした。皆なつかしく、耐寒マラソンを控え、外周を塀を見ながら何周か走った事や、閉門後、桜の花形を足場に乗り越えた思い出などを語りあった。

好々爺たちの話は尽きず、あつという間に時間は流れ、集合写真の配布後校歌斉唱に続き、山本(石原)照子さんの再会を誓う力強い挨拶後閉会した。

桜塚高校27期同期会を開催して

桜塚高校27期代表幹事 高森 豊文

2月11日(金)、道頓堀ホテルにおいて「桜塚高校27期同期会」を開催しました。当日は、教員5名同期生72名の出席がありました。当日は大雪のため、出席できない同期生もいて、残念でしたが多くの人に参加して頂き、大変嬉しく思いました。

前回、ホテルプラザで開催した後、柳澤君から代表幹事を受け継ぎました。私の怠慢から6年が経ってしまった、同期生の皆様には大変申し訳なく思っております。当日多くの人から、感謝の言葉を頂き、早く開催すればよかったなど、反省している次第です。

参加された人には、卒業以来の友人との再会の人もおられ、高校時代の思い出話を花を咲かせていました。何年経っても桜塚高校で過ごした3年間は、素晴らしい時だったとあらためて思いました。

次回は、3年後に開催したいと思っていますので、今回参加できなかった人は、ぜひ参加して頂き、高校時代に戻り、ワイワイして頂きたいと思っ





おります。  
最後に、今回の開催にあたり協力して頂いた幹事の、柳澤君・東君・市枝君・小城君・安田君・杉村君・神崎さん・大西さん・児玉さん・山本さん・奥野さんに感謝致します。

**高校三十二期  
卒業三十周年同窓会**

幹事一同(王鞍大助記)

平成二十二年真夏の八月十四日(土)ヒルトン大阪「金の間」で高校三十二期卒業三十周年記念の同窓会を開催しました。三十周年という区切りでもあり、出席者は総勢百二十一人。遠方からもたくさん駆けつけてくれました。記念写真の撮影から始まる旋破りの進行で物故者への黙祷、ご出席いただいた先生方の近況のご報告、ビンゴゲーム、校歌斉唱と楽しい時間を過ごしました。

さすが桜塚、出席者は女性が圧倒的に多く、かつ美しく、改めて桜塚OBで良かったと喜びを囁みしました。また、先生方も大変お元気で新しいことにチャレンジされている様子。いよいよ五十歳になろうとする私たちは大いにパワーをいただきました。社会と家庭で相応の責任を負う年齢になりましたので、先生方に負けないよう頑張りたいと思います。

ヒルトンの後は二次会、三次会と続きお開きとなりました。今回の同窓会と高校二年で行った修学旅行のキセキの映像をDVDにして後日出席者にお配りする予定ですので乞うご期待。今回は五年後に集まり、今回同様に盛り上がりたと思いますので次回の幹事の方々よろしくお祈りします。

最後に、今回尚和会の「同期会開催



支援助成金」の制度を利用させていただきましたことをお礼申し上げます。

**卒後47周年同期会を終えて**

定13期 吉田信子

平成22年6月26日(土)午後4時30分より、豊中のホテルアイボリーで開催した。当日はあいにくの雨でしたが、遠路高知県や、近郊でも6年ぶりに出席の方もあり20名が懐かしい再会となりました。

円卓テーブルを囲み宴たけなわの頃、同期の会計報告やそれぞれに熱心な発言もあり、貴重な意見を尊重して、皆で今後の同期会に役立てていこうと話していました。

続いて二次会は、ホテル内の別の部屋でカラオケ大会。大いに盛り上がり、更に三次会へと参加したメンバーもありました。日頃忙しさに追われている面々も、この時だけは、青春たけなわの桜塚時代に返り、天真爛漫になれたのではないのでしょうか。

終りになりましたが、毎年行っているこの13期会、尚和会から5年毎に支援金をいただき、毎回の幹事の労あつてこそと感謝しています。

今後、できるだけ多くの方の出席を期待し、「みな元気な顔見に行こう！」で閉会しました。





# 同期会開催予告

## 高校八期卒業五十五周年記念 同期会のご案内

**日時** 平成二十三年十一月十二日(土)  
午後十二時三十分開演(受付は午後十二時より)

**会場** ホテルアイボリー 三階  
豊中市本町三丁目

**会費** 7,000円

前回の開催から、早や五年の星霜を過ぎました。ああ、皆様と、たまらなくお会いしたいです。来し方のこと、今のことなど、いっぱい、いっぱい語り合いたいです。とても懐かしいあなたのご来会を、誰も彼もが、心からお持ち致しております。詳しいご案内は、初秋の頃にお届け致します。

世話人代表 森田 司朗  
代理 岩本 鈞

## 高十三期卒業五十周年 記念同期会予告

**日時** 平成二十三年十一月八日(火)  
十六時から(約三時間)

**会場** ラマダホテル大阪(旧、東洋ホテル)  
大阪市北区豊崎三-十六-十九  
(地下鉄御堂筋線中津駅)

高校卒業二十五周年を皮切りに五年毎に開催し、六回目を迎えます。今回は節目の五十周年ということで、是非ともご参加くださるようお願いいたします(予定表にメモしておいてください)。詳細のご案内は、改めて秋口に郵送致します。

事務局・細川和彦  
TEL・FAX

## 高十一期 古稀記念同期会

**日時** 平成二十三年十一月中旬の  
土・日(どちらか)を予定しています。

**会場** 新大阪江坂 東急イン

**会費** 10,000円

母校桜塚高校を昭和三十四年(一九五九年)に卒業して五十二年になりました。つきましては、左記要領で「古稀記念同期会」を開催いたします。なお、詳細は後日皆さんにお葉書にて連絡いたします。

世話役代表 吉田 和久



★・アクリル 絵具  
for Artist  
**GOLDEN**  
ACRYLICS  
ゴールデンアクリリックス

右も、左も、おなじ色ではもの足りない。個性色。新個性色。ゴールデンアクリリックスひとりひとり違う個性を、おなじ絵具で表現しきれぬだろうか。もっとう描きたいものがある。もっとう描きたいものがある。となりととなり絵具ではもの足りないあなたへの創造力。新アクリル絵具、ゴールデンアクリリックス。色の伸び、発色の良さ、そして多彩なメディウム群がアメリカのアートイラストから絶賛を浴びた名品です。

◆20ml・60ml・150ml 全98色  
メディウム全33種


代表取締役社長 地平 宏  
明日の色をつくる  
**4-MINUTE** 色彩株式会社  
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-15-7 TEL.(06) 6308-1212  
〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-11-3 TEL.(03) 3953-5161

ご宿泊、ご宴会、ご婚礼、レストランのご利用すべてのシーンに、ぬくもりを感じていただける、それが(ホテル アイボリー)です

**特別プラン 天然温泉付、同窓会、OB会プラン**

お食事、お飲み物、天然温泉入浴券付  
お一人様 4,500円(税サ込)

ご予約は10名~20名様まで。※詳細は予約係までお問い合わせ下さい。



**ホテルアイボリー**

〒560-0021 大阪府豊中市本町3丁目1番16号  
TEL. (06) 6849-1111(代) 予約直通(06) 6849-5040

持ち運べる総合書店。



**BookGate**

スマートな読書スタイルを始めよう。

**BookGate** 音楽のようにネットで本をダウンロードする時代。ユーザーの多種多様なニーズに応えるため、BookGateは幅広いジャンルからさまざまな電子書籍\*を用意。読みやすいビューアで快適に読書が楽しめます。BookGateで、新しい読書の扉を開いてください。


\* iPhone / iPod touch / iPad向け電子書籍

**まずはAppStoreで「BookGate」を検索!!**

株式会社廣済堂 〒108-8378 東京都港区芝4-6-12  
TEL.03-3453-0550 <http://www.kosaido.co.jp/>



**お便りから**  
 平成二十二年五月から平成二十三年一月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。



会のお世話  
 ます。バスケ  
 がなつかしい  
 く頑張つて下  
 会報なつか  
 なたつさわつ  
 ております。

会報に、ホ  
 年齢84才、  
 報201010坪  
 の尚和会発展  
 東京の3期  
 会って昔話を  
 う。

母校の塀が  
 す。  
 桜の塀が国  
 して赤い屋根  
 代の思い出は  
 気をもらつて

今年も元気  
 ました。有難  
 会報ありが  
 と母校を訪ね  
 ひ出を話しな  
 かつたです。

元気に毎日  
 は御元気です  
 母校の塀が  
 かしく、嬉し  
 ります。思い

大阪大空襲  
 ら65年。今後  
 さを語り伝え

どんなに年  
 ンの女学生時  
 があの頃の先  
 と思ひます。  
 の日々を送つ

# WEB 版非公開

会報あり  
 恩露園が何  
 来るとのお

S16年入  
 の鐘が美し  
 まもなく供  
 てくること  
 度聞きたい

会報うれ  
 からのおで  
 た。男・女  
 ばつて下さ

今年8  
 友の事をし  
 この世に生  
 今ある事と  
 す。

会報有難  
 の発展を心

いつも会  
 中を過して  
 とは思いま  
 ます

母校並び  
 ております。

喜寿を迎  
 い出は心の

平成17年  
 様で祝つて  
 サクラヅカ  
 います。

喜寿を超  
 今でも尚和

四国八十  
 ています。

「尚和会  
 見致しまし  
 テイに出席  
 のひととき  
 が出来まし

年に一度  
 お世話有難

今年、11日  
 関東地区の

# WEB 版非公開

久しぶりの  
 させて頂きま  
 な姿でした。中

恵風苑と恩  
 フジが今尚  
 中に堂々と咲  
 フェンスの一  
 よいでいます  
 堂々と咲くこ  
 くださいね。

会報ありが  
 展お祈り申し

会報有難と  
 早や1年ろつ  
 に出ていませ

黒パン(高  
 す。尚和会報  
 を拝見。集り

我が人生、  
 かる年齢にな  
 は、学生期に思  
 役員の皆様にお  
 しくお願い致

来年は卒業  
 ん元気でおい

同期の皆様、  
 会いしたいで

桜高 祝73  
 喜寿まで後3  
 あるのみ。2

会報いつも  
 の塀が「国の  
 いことです。さ  
 ようと思つてお

いつも世話  
 をみて、なつか

昨秋卒業50  
 え懐しく友人  
 いう間のひと  
 思った旧友が  
 有。元気なう  
 有志は4月に  
 春時代を甦え

# WEB 版非公開

歳月の早さ  
 御清栄を念じ  
 60代最後の  
 にする為、健  
 す！

卒業後、一  
 せん。帰省の  
 います。

本年3月31  
 ました。これ  
 がら自分探し  
 ス会「三七桜  
 楽しい一時を

2年前に現  
 曜日です

気もちはま  
 齢者の仲間を  
 す。

卒業後早や  
 中によく母校  
 部活動を目に  
 らの姿に感動  
 だし、はげみ

65才にてり

レンガと桜  
 財認定とても  
 先生に習いま  
 楽の小さな  
 細々絵を続け  
 る音楽家の演

国指定有形  
 いあの塀が

孫守りの日  
 孫が誕生予定  
 ています。

なつかしい  
 つまでもこの

仕事で近く  
 思いながら、

私たちがア  
 のご健康をお

22年5月1  
 2期)が84歳  
 女学校時代

# WEB 版非公開

生涯ずっと親  
 だき、母は本  
 ここにお礼を  
 のご健康が多  
 もう卒業し  
 いう間です。

久々に尚和  
 木造校舎の高

当時の親友  
 ています。桜  
 産です。

卒業して早  
 しく思い出さ

「尚和会だ  
 一度は同窓会

マスターズ  
 ざいます。

総会にご出  
 の元同級生で  
 み元気が出ま

近所の女の  
 学してますが  
 念です。(今  
 ったそうです

4人の子ど  
 入学して自分

連絡先が3  
 る事に嬉しく  
 観戦させて頂  
 福澤(水泳部  
 しています。

1年ののち  
 私は生かされ  
 か、いま20

毎年元気に  
 力・気力の劣  
 いつまで元気  
 る心境の毎日

初任より11  
 が、今年で退  
 りがとうござ

# WEB 版非公開





平成23年桜塚高校尚和会新年会報告  
高校34期 行事委員 伴 頼子  
恒例の尚和会新年会が平成23年1月16日(日)12:30~15:00、「ホテル新大阪江坂東急イン」ウッドルームにて開催されましたのでご報告させていただきます。



前日からの厳しい寒波に見舞われこの冬一番の冷え込みということで出席される方々が無事来場できるか心配しておりましたが、66名の出席者とプラス東急イン岡本マネージャー(岡本様も同窓生ということでお世話してくださいました)計、67名で明るい新年のスタートをきることができました。  
今年尚和会では体向上のため桜塚高校運動部への協賛をという素晴らしい案が大島会長より年頭のあいさつで報告がされました。  
乾杯のあいさつでもありましたが、桜塚高校は文武両道で学生たちに勉強もより励んでほしいという先輩方の声がかげられました。  
スポーツ、特に武道は心身を鍛錬するには一番です。  
私自身も「道」のつくものが好きで茶道や柔道を経験しておりますが、手足の運びに一切無駄がなく、所作も美しくなり礼儀作法も自然に身に付きます。  
また、集中力を養い心を豊かにしてくれますので女子にも武道にふれる機会があればよいでしょう。  
また、小山校長先生は空手の元世界チャンピオン、米田教頭先生は剣道5段の腕前でいらっしゃいますからわが校は指導者にも大変恵まれています。  
今年の新年会では小山校長先生が空手道の紹介と演武を披露してくださいました。  
拳、手、足をどのように使うか、組み手や流派について話された後、剛柔

- 転職  
准校長 鈴木
- 着任  
准校長 加藤
- 退職  
全日制課程  
国語 後藤  
数学 熊谷  
保健体育 渡辺  
国語 小寺
- 着任  
社会 吉岡  
理科 津田  
英語 津田  
事務 大田

**教職員人事異動 平成二十三年度**

流という呼吸法を特徴とする「セーパイン」(円運動を多用する演武)を見ていただけ、スキのない迫力ある演技に会場は拍手喝采で盛り上がりました。在職中の先生方との交流があり今年が良い新年会でした。  
尚和会では広報の高崎副会長がホームページをリニューアルし、ブログのアップをし、卒業生が当会に興味を持っていただけるよう尽力を尽くしております。  
ホームページを通して卒業生との交流がより活発になるよう願っております。  
尚和会では1月の第3日曜日に新年会を、5月の第3日曜日の総会と年に2回の会を催しております。  
次は5月15日(日)豊中のホテルアイボリー(総会は毎年おなじ場所)で開催予定です。こちらは卒業生ならどなたでも参加できますので、同窓生の方をお誘いの上是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

WEB 版非公開

- 退職  
国語 寺東
- 定時制  
国語 矢野
- 転出  
数学 和泉  
理科 津村  
保健体育 村上  
事務 竹中
- 着任  
教頭 池田
- 家庭  
事務・課長補佐 浦谷  
家庭 青柳
- 事務  
事務 木下
- 教頭  
教頭 松島
- 国語  
国語 田中
- 数学  
数学 田中
- 家庭  
家庭 宮林
- 保健体育  
保健体育 中島
- 事務・主査  
保健体育 宮守  
事務・主査 大牧  
橋本
- 国語  
国語 田中
- 社会  
社会 田上
- 数学  
数学 藤本
- 理科  
理科 平澤
- 保健体育  
保健体育 南
- 英語  
英語 矢野
- 事務・主査  
事務・主査 吉田

平成二十二年物故者芳名  
(平成22年1月1日~12月31日まで)

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開



平成二十三年度 会報代・協力金  
◆ご協力ありがとうございました◆  
(金額は納入合計額)

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開



# WEB 版非公開

# WEB 版非公開

## 「桜塚新聞」を探しています

昭和40年代、学生運動が激しかった頃、大学のみならず桜塚高校においても校内集会や、学校側との討論会等が行われておりました。

当時、桜塚高校には新聞部が存在し、おおいにペンを奮っていた様子です。

しかし昭和も50年に入ると学生運動も下火となり、合わせるかのようにペンの力の存在も薄れていき、桜塚の新聞部も廃部となっております。

桜塚新聞には当時の時代、日々を語る記事が掲載されており、当時の出来事を掘り起こせる貴重な資料です。

思い出の箱とかに入ってますか？

お持ちの方がおられましたらご連絡をお待ちしております。

なにぶん古い物ですので状態によっては郵送が不可能な場合もあります。

まずはご一報下さい。

(連絡先は尚和会まで)

WEB 版非公開

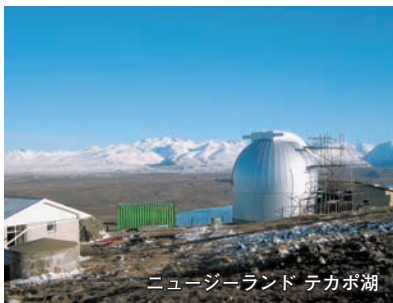
	高女 1期～ 8期	併中 1期～ 2期	高 1期～ 63期	定 1期～ 61期	定通併修 1期～ 11期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会 員 数	2,061	229	27,882	4,397	123	840	55	37	35,624
物 故 者	420	18	837	104	0	183	0	0	1,562
住所不明者	275	44	7,875	2,393	29	238	0	0	10,854
住所判明者	1,366	167	19,170	1,900	94	419	55	37	23,208
判 明 率	83.2%	79.1%	70.9%	44.3%	76.4%	63.8%	100.0%	100.0%	68.1%

尚和会会員数  
(単位：人)

## 「卒業5年以内の皆様へ」

表紙にてご案内しております尚和会総会には毎年、懐しい担任の先生方も参加されています。2007年以降の卒業生の方は会費は2000円です(半額)ぜひ同期の方をお誘いあわせてのご参加をお待ちしております。

小型天体望遠鏡から大型天文台まで 教育機関、公共機関の天文台企画、設置工事



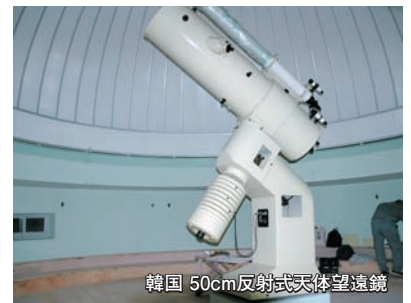
ニュージーランド テカポ湖



ハワイ マウイ島 ハレヤカラ



鹿児島県 輝北町



韓国 50cm反射式天体望遠鏡

協栄産業株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田2-9-18  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5  
URL <http://www.kyoei-dome.com>

TEL 06-6375-9701  
TEL 03-3526-3366

代表取締役  
谷 元美 (高15期)



# 平成二十二年度総会・懇親会

行事担当副会長 高校15期 上田 幸子

平成二十二年度の総会・懇親会は五月十六日(日)に、ホテル・アイボリーにて開催されました。

来賓・会員・アトラクション参加者を含めて九十六名のご参加をいただきとても盛会裏の中実施されました。

大島会長の挨拶に続き、三月に退任された西郷校長先生の後任として、四月着任された小山校長先生からご祝辞をいただいた後、各委員会からの報告、二十一年度決算報告、二十二年度予算報告、役員退任者への花束贈呈で総会は終了、後半のアトラクション・懇親会へとつづりました。

今年のアトラクションは桜塚高校の三十四期生 西尾忠晃氏ことチャリリー・ニーシオ&フジヤマチャロルオーケストラによるコンサートが行われました。

五十七期生のプロの司会者柴田綾さんのすばらしい進行でコンサートはとて華やかに楽しく展開されました。曲は「明るい表通りへ」「スマイル」「さらばジャマイカ」など懐かしいジャズをチャリリーさんの美しい歌声と小粋なピアノとウッドベースのサウンドが会場いっぱいに響きわたりました。最後に同期生の皆さんから花束が贈呈されアトラクションが終わりました。

懇親会は和洋折衷のお料理をbuffet方式でテーブル席で楽しんでいただきました。福引もあり会場は和気あいあいでもなごやかに幕を閉じました。

さて二十三年度の総会は今年五月十五日(日)ホテル・アイボリーで

行われます。アトラクションは桜塚高校の二十四期生・出羽真理さんのピアノ演奏と二十五期生の中務幸彦さんのチェロの演奏をお届けします。出羽さんと中務さんは共に東京芸術大学卒業で主に東京でご活躍中です。バツハやシヨパン、サンサーンス等の名曲を演奏してください。予定です。ぜひ、同期の皆様はもろろん、お友達お誘いあわせ、多くの方々に参加いただきます様をお願いいたします。



桜塚高校尚和会 懇親会



東日本大震災において被災地及び被災された方、そのご家族・関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます  
尚和会としましては今回の災害におきまして「大阪府立桜塚高等学校同窓会 尚和会」名義で「日本赤十字社東北関東大震災義援金」宛てに100万円を寄付させていただきました

## 編集後記

昨年度の五月から尚和会の報告をお手伝いをさせて頂き、気がつけば早一年が経とうととして「光陰矢の如し」と言わねば本當に月日の経つのは早い。母校を卒業してからの見れば二十七年も経っている。お世話では本當に沢山の先生にお世話になった。先生には入学当時一年生の担任の先生は本當にお世話になった。先生は入学早々やんちゃな私は一週間て停学処分をくらった。そんな時先生は私を使ってくれて、クラスメイトには私が停学になつた事を口外せず、またわざわざ家まで何回も来て頂き温かい声をかけて頂いた。今も先生は年賀状のやり取りが人生には会えなくて会う人が必ずいると思ふ。先生との出逢いはまさにとりかえられなかった。これは先生が桜塚高校に入らなければ、今この会報も出来なかつた。今年を送りたいと思ふ。自分の身の事業でテレビや新聞等色々取り上げてもらい、かなり忙しい日々をおくつていて「母校愛」の大切さを痛感している。私の年代である四十代は、まだ時代のな余裕が無い世代があるが、できる限り母である我が母校高等学校に関わりを持ちたいと思ふ。 高校三十七期 高崎 健治

